



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700
■発行責任者：古屋 雅夫
「暑い日とじめじめした季節です。健康には十分注意してください」

◎「子宮頸がん」予防ワクチン補助事業など、新事業提案される。 ★中期財政計画および、日下部地区等都市計画道路の推進等に対し一般質問を行い、前向きな見解を引き出す。



古屋まさお市議

「一般質問」の概要

1、「効率的・効果的行政運営に向けた事務事業評価等」の充実に向けて

第1次山梨市財政改革大綱（H17年度～21年度）の成果・課題の中では「事務事業評価」の結果は施策・事務事業の改善や予算編成に十分反映されていないと指摘している。

こうした状況を踏まえ、事業の費用対効果の検証や事業評価による見直しなどの体系的な取り組みの推進が必要であり、そのためには、市民ニーズとその満足度を考慮しつつ、いかにコストを下げていくのかとの、民間経営感覚での行政運営が求められており、徹底した「事務事業評価」による予算反映ができる仕組みづくりと、情報公開が必要である。

一方、市が実施している各事業内容・評価については効率的、効果的行政運営を行う立場から、より市民が感心を寄せてもらうための工夫や、第三者評価体制の構築、事業の透明化など充実が必要であるかと考える。

■裏面に続きます

平成22年度6月定例議会（6月7日～6月25日）は、19日の日程で開催され、新たな施策・事業を含め、7億8,671万円の追加補正を含め、総額156億271万円の補正予算及び、条例の一部改正等17件の議案を賛成多数で可決した。また、「意見書」については1件否決、1件継続審査とした。

●主要事業の概要●

- 1、中期財政計画について（H22年～5年間）では国庫補助交付金、の削減などで財政調整金の取り崩し、市債の返済の増で厳しい財政状況にある。今後は、①保育園の統合、②指定管理者への移行、事務事業の整理統合・委託化、③滞納整理、④未利用財産処分、受益者負担の原則から、使用料や負担金の見直しによる財源確保を図る。
- 2、「子宮頸がん」予防ワクチンの経費の補助／医療費の抑制、健康の保持・増進と少子化対策等の負担軽減するために環境整備を図る。
助成制度：県が1/3を限度、市が2/3（3万円程度）
対象：小学校6年生。本年度から3年間、中学3年生も対象（任意）
- 3、子育て支援事業の実施／①子育てガイドブック、②子育て後援会、③親子ふれあいコンサート等12の事業を国の補助事業（100%）で行う。なお、国の補助が今年度終わるが、前③等のソフト事業は明年度以降継続したい。
- 4、耐震補強工事／小中学校の耐震工事が本年度終わることから、次年度は保育園、公民館について計画整備を図る。
- 5、市庁舎南棟整備計画／これまで様々な要望が出ていますが、合併特例債が活用できる平成26年度までに、議会及び関係懇話会・審議会等に提示していく。
- 6、主要道路整備事業／①小原東・後屋敷線改良事業、②落合正徳寺線改良事業、③野背坂線改良事業など道路橋梁事業の推進を行う。

「一般質問」の続き

※「事務事業評価」の目的は「行政活動の進捗管理」「コストを意識した効率的・効果的な行政運営」「市民参加のまちづくりの推進」に向けて統一的な視点と手法で評価し行政運営に反映させる手法である。

(市) これまでに129の事務事業評価を行ってきた。特に山梨市の第1次総合計画の推進を図る上で、重要な行政手法であることから、現行の事務事業評価はソフト・ハード事業も同一システムで行っており、課題も多い、しっかりした評価システムの構築と内部の評価体制を図ったうえで、外部評価、透明性・情報公開についても検討していきたい。

2、都市計画道路「市道北中東通り線」の計画、実施にむけて

・標記の道路は、七日市場から山梨北中、日下部小との間を通り、南反保を經由し上神内川地区、山梨消防署東側までを全長、2,160mの道路計画です。

とりわけ、日下部小西側区間、七日市場から市道は花みずき通りまでの区間は、教育施設・小中学校や幼稚園及び公民館があり、小中学校は災害時の非難場所として指定されているが、道路が狭く避難道路および、支援物資等の搬入道路として危惧される面もある。

また現在、通学路等として多くの市民が利用していますが、特に日下部小学校を囲む周辺道路は狭く、場所によってはすれ違いも出来ない箇所もあり、合わせて道路脇には水路も流れており、子供たちの安全性確保の観点から、地元・地域から道路の拡幅等の要望が出ている。具体化に向けた計画案づくりに着手して頂きたい。

(市) 山梨市の長期道路網計画に基づき現在、①歩行者の安全確保、②環境改善、③生活の利便性の向上等、評価の高い順に定量的評価を行い、10路線(Aランク)を選定し道路整備を推進している。

「北中東通り線」の「はなみずき通り」までの区間は災害時の緊急輸送路として県道万力線を補完する道路として整備を期待されている。

事業化に向けては現在の整備路線とのコンセンサス及びまちづくりなど面的な面からみて総合的に検討していきたい。

3、「ホームページ等による審議会等の情報公開」の推進について

情報化が急速に進んでいく中で、ホームページの果たす役割はますます重要になってきている。とりわけ、行政情報は多岐にわたっており、情報公開の状況も各自治体で温度差はある。

このような状況の中で本市においては、事業推進を目的に設置されている、市長の諮問機関等・審議会、協議会等にかかわる情報の共有化は市民にとって不可欠であると考えます。

開かれた市政を目指すためにも審議会等の議事録についてホームページでの公開などによる、市民と一体となった開かれた行政運営に努めていかなければならないと考えている。

(市) ホームページにおける情報公開については、できることから情報提供の推進を図っていく。

4、「山梨市提案型協働のまちづくり支援制度」の新設の評価と継続に向けて

・機構改革に伴う、市民生活課・まちづくり協働担当としてのスターティング事業として高く評価するとともに期待したい。

・本、制度の要綱内容(審査方法、結果報告など)が山梨県、他の自治体と比べて緩やかであり、本事業がソフト事業だけに結果が見えにくいこともあり、実施状況如では制度の継続性が懸念される。

したがって、提案事業の継続性や提案団体間の交流など協働の主旨を踏まえた、本事業の継続・発展に向け要綱の見直しの検討が必要と考える。



←総務常任委員会にて(古屋副委員長)

(市) 要綱の見直しについては今年度の状況を見て、評価方法等を分析したうえで見直しについて検討していきたい。また、今年度の応募団体、応募内容等についてはホームページで公開する。また、「活動実例報告会」も行っていきたい。

《総務常任委員会・副委員長メモ》

市民の声が着実に議会で反映される。

(一部を紹介します)

- 「タバコ値上げ」に伴う市税収は？
・現在のタバコ税収は約1億7560万円
・「たばこ」をお止めになる方が現在より15%~20%減小しても、税収は860万~1480万円程度増収が期待されます。
- 井尻地区公民館立替に向けて、財団法人(宝くじ)のコミュニティー助成金1500万が決まる。
- 市営バス路線運行時刻及び路線の見直し経費147万円計上しし、平成23年度から実施に向けた検討を行う。
- 牧丘町窪平・バス停トイレ改修予算約40万円の補正を行う。
- 窪八幡神社・元宮司宅(現在市の所有)石積み改修費用、300万円
- 「永住外国人に対する地方参政権付与の法制化に反対する意見書」総務常任委員会では、全会一致で継続審査、本会議では原案賛成が7名で継続審議扱いとなった。

★★★★★「友雅会ニュース」あとがき★★★★★

お陰様で、議員活動も1年が過ぎ、「友雅会ニュース」で情報発信を行うことができました。市民の目線からの、「提言」、「開かれた市政」運営等に向け頑張っていきます。今後も市民のみなさんご意見をお寄せください。

<http://www.e-masao.net/>